

環境情報セミナー

画像から知識を抽出する (Auto-Extraction of Knowledge out of Image)

主催：立正大学大学院オープンリサーチセンター
後援：パーソナルコンピュータ利用技術学会
NPO法人GISパートナーシップ

【主旨】

立正大学地球環境科学部環境システム学科環境管理・情報コースでは、環境に関する広域かつ高精度な情報をリモートセンシングおよび観測等によりモニタリングし、GIS（地理情報システム）によりデータ解析を行い、対象地の特徴を抽出するとともに、環境を構成する要素パラメータ間の関係性を統計処理により評価し、その結果を環境管理に適用できる人材を養成しております。

本セミナーでは、文部科学省オープンリサーチセンター整備事業の補助等を受け、立正大学地球環境科学部・環境システム学科・環境管理・情報コースで行われている研究・教育成果を公開します。本セミナーで紹介した内容が地域の環境管理に適用され、新たな地域連携ができましたら幸いです。

【プログラム】（若干の変更の可能性があります）

開催日時：2010年3月5日（金）10：30～17:00

場所：立正大学大崎校舎11号館4階114E室（次のホームページ参照）

（大崎キャンパス案内図）http://www.ris.ac.jp/guidance/cam_guide/osaki_map.html

<開会挨拶・講演> 後藤真太郎（立正大学地球環境科学部教授）

10：30～11：30 環境管理情報コースについて、環境情報処理を用いた地域連携事例
－地域SNSとGISの利用による環境まちづくりへの適用－

<講習> 范海生（立正大学地球環境科学部講師）

11：30～12：30 画像から知識を抽出する（1）－画像解析ソフトeCognition*の紹介
（休憩 12：30～13：30）

13：30～16：00 画像から知識を抽出する（2）－画像解析ソフトeCognitionの実習
（休憩 16：00～16：15）

16：15～16：30 空中写真を用いる森林資源調査－画像解析ソフトeCognitionの応用事例

<討論> 参加者全員

16：30～17：30 討論

<閉会>

* 背景：独Definiens社のソフト「eCognition」（<http://earth.definiens.com/products/trial-software> トライアルバージョンあり）は、ノーベル物理学賞受賞者ゲルト・ビーニツヒ教授らによって開発された画像解析ソフトです。画像から知識を抽出するという人間の強力な認知・判断のプロセスをエミュレートします。微細な細胞の構造から衛星画像までスケールを問わず、画像解析のあらゆるタスクをより効率的に実現します。

【連絡先】

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

立正大学地球環境科学部環境システム学科 環境リモートセンシング研究室 范海生

TEL : 048-539-1652 : FAX : 048-539-1652 e-mail : fan@ris.ac.jp

【募集人数】 14 名 (ソフトライセンス数の制限があります)

【参加費用】 無料

FAX : 048-539-1652 もしくは **fan@ris.ac.jp**

立正大学地球環境科学部

環境システム学科 環境管理・情報コース 環境リモートセンシング研究室 行

平成21年度 「環境情報セミナー」受講申込書

ふりがな

お名前

勤務先・学校名

ご住所 (勤務先) 〒

お電話 (勤務先) — —